

北海道大学教職課程 自己点検・評価報告書（令和6年度）

令和7年3月
教職課程専門委員会 点検・評価小委員会

I. 教科教育法（理科）の点検・評価（令和6年度実施）

1. 科目責任者：学科でローテーションする取り決めに廃し、「理学部教務委員長またはその指名するものが担当する」ことを理学部教務委員会で決定した。これにより、令和3年度以前のように責任の所在が不明にならないようにした。

2. 各論担当者：物理と化学では各論担当者が令和4年度以降、同一教員が担当して改善に取り組んでいる。生物と地学では担当者は毎年変わるものの、既担当者と次担当者間での引き継ぎが十分になされるようになった。各論担当者の推薦は、理学部教務委員会の構成員である学科教務委員が担当しており、教務委員会で何度も理科教育法問題を取り上げ、適切な担当者の推薦に反映されるようにしている。

3. 受講者の満足度向上：グループワークや模擬授業など、大人数講義形式では取り入れが難しいと思われるものも、各論の一部として導入し、特別講演などと合わせて受講者の満足度向上に取り組んだ。少しだけでもグループワークや模擬授業の取り込んだことを歓迎している声が、学生から寄せられている。

II. 「教育実践に関する科目」の点検・評価（令和6年度実施）

2024（令和6）年度は、教育職員免許法施行規則第4条、同第5条が定める「教育実践に関する科目」を対象として点検・評価を実施した。

1. 教育実習 A・教育実習 B：点検・評価小委員会において、教育実習の問題点・改善の課題等を明らかにすることとした。委員が分担して実習日誌の内容を点検し、教育実習の問題点を整理した。また、教育実習に向けての指導の課題、その他の課題について検討した。

2. 教育実習 C：2024（令和6）年12月19日、授業時間内にアンケート（無記名）を実施した。2025（令和7）年2月7日、授業担当者によるアンケート結果に関する意見交換をおこなった。

3. 教職実践演習：2024（令和6）年11月22日、授業時間内にアンケート（無記名）を実施した。2025（令和7）年2月7日、授業担当者によるアンケート結果に関する意見交換をおこなった。

詳細は、「点検・評価小委員会及び教職課程担当教員会議について」、「2024年度受講者アンケート結果」（『北海道大学 教職課程年報』第15号所収）を参照。

Ⅲ. 教職課程担当者会議の開催（令和6年度実施）

2025（令和7）年2月10日、2024（令和6）年度 教職課程担当教員会議を開催した。参加者は16名であった。会議では、本年度の教職課程の実施状況について、点検・評価小委員会委員長（光本 滋：教育学研究院）が資料を用いて報告し、その後意見交換を行った。

詳細は、「第3回 教職課程担当教員会議の記録」（『北海道大学 教職課程年報』第15号所収）を参照。